PDI製 VSR用 ニュートリガー 組込みマニュアル

2021.5 現在

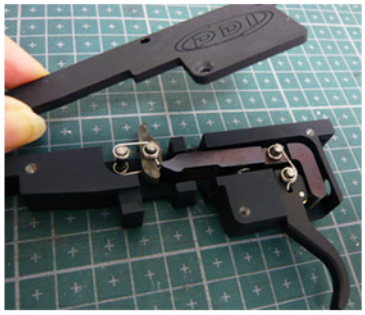
Trigger

PDI製VSR用ニュートリガーは専用のリペアパーツを販売しています。
VSR-10用、BORE UP用共に使用可能となっております。
組込み手順を記載しますので、カスタム初心者の方は参考にしてください。

トリガーボックスを開けてみましょう

トリガーボックスのフタは４カ所のネジで固定されています。プラスドライバーで３カ所、六角レンチで１カ所(セットピン固定)のネジを外すとボックスのフタを開くことが出来ます。
(ボックス裏にセットピンを固定する為のピンがありますが、前の４カ所を外すとフタは取り外せます)
ボックス内のパーツをセットした後は外したときと同じ手順でフタをボックスにネジで固定してください。

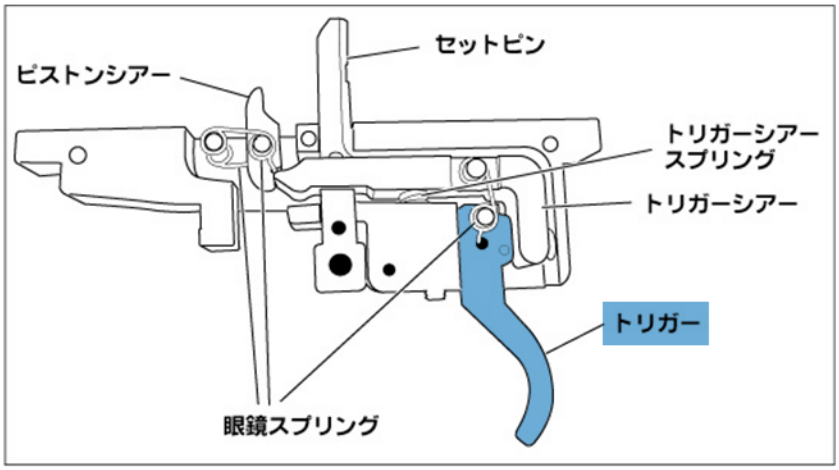
※セットピンを固定するネジはキツく締めすぎないようご注意ください
※ボックスのフタを開く際は中の小さなパーツを落とさないよう整理された机の上で、ボックスを水平に置いて行うようにしましょう



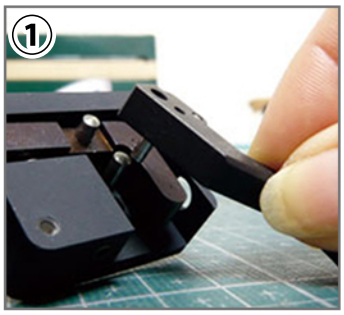
以下のPDI製VSR用ニュートリガー用リペアパーツを販売しています。

- 「ピストンシアー」
- 「セットピン」
- 「トリガーシアー」
- 「トリガーシアースプリング」
- 「トリガー」
- 「眼鏡スプリング」

図解 ー断面図ー

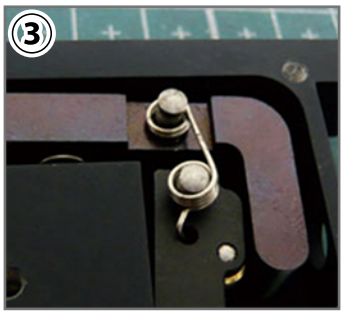


組込み手順



トリガーをピン穴に合わせて、トリガーボックスへセットします。

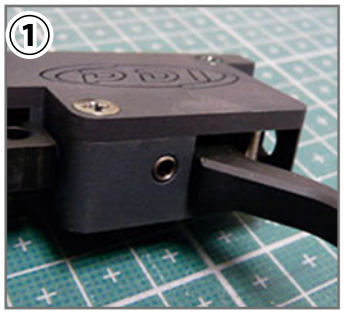
トリガーシアー部のピンとトリガー部のピンに、眼鏡スプリングをセットして動作を連結させます。



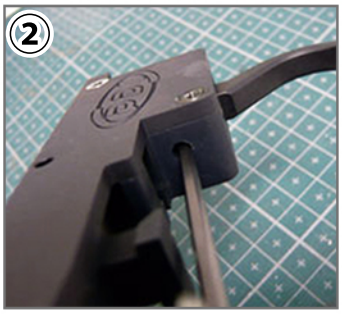
完成です。眼鏡スプリングの向きを間違えていないか確認しましょう。

トリガープル調整について

イモネジでトリガープルの距離を若干調整することが出来ます。以下の説明ではイモネジ穴が分かり易いようセットピンを取り外しています。セットピンを取り付けたままでも調整は可能です。



トリガーボックス下側（トリガーのすぐ近く）にトリガープル設定を固定する為のイモネジの穴があるので、六角レンチで緩めます。（反時計回り）
※上の図ではイモネジ穴がわかりやすいようにセットピンを取り外しています



イモネジ穴に六角レンチを差し込み、トリガープルの距離を微調整します。
・反時計回し：
　トリガープルが重くなります
・時計回し：
　トリガープルが軽くなります

調整後はボックス下側のイモネジを締めて設定を固定し、完了です。